

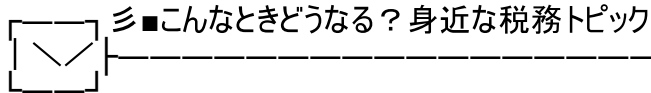
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◇九段会計通信 Vol.23のコンテンツ◇

- こんなときどうなる？身近な税務トピック
 - ・義援金に関する税務上の取扱い編
- 震災後、なんだか調子が良くない...そんな時は
 - ・今すぐできる心のケア方法のご紹介
- 温故知新なく九段的ヒトコト>
- 新サービスの御案内
- 編集後記



●義援金に関する税務上の取扱い編

ご周知のとおり、東北地方太平洋沖地震により被災地では甚大な被害を受けております。また、被災地以外の地域であっても、物流の問題や消費の抑制など、厳しい状況が引き続きあります。

そんな暗い材料が多い中、多額の義援金が世界中から集まっているようです。一刻も早い復興を願う強い思いの象徴と言えるかも知れません。

顧問先様の中でも、寄付をお考えの方、すでに寄付を行った方も多いのではないのでしょうか。寄付金は、税務上の経費と認められるため、適正な会計処理を行えば税額を下げることができます。寄付という行為は勿論善意で行われるものと思っておりますので、金銭的なメリットを享受することに抵抗がある方もいらっしゃるかもしれませんが、健全な事業経営を行うことも日本経済全体を考慮すれば必要不可欠なことです。きちんと申告することを推奨致します。

さて、この寄付金ですが支払っただけでは経費として認められません。他の経費と同様に支払いを証明する書類が必要となります。義援金の専用口座が設けられている機関については、

「銀行振込で支払った振込票の控え」などで結構ですが、それ以外の機関については、義援金として使用されることが判断できるような「預り証」や「受領証」が必要となってきます。

義援金の種類が多くて、どれに該当するか判断が難しいかと思います。ご不明な点がございましたら、弊所または担当者へご連絡いただければ幸いです。

なお、震災義援金に関するホームページがございますので参考にして頂ければ幸いです。

メールマガジン編集担当 沼辺 勇樹



■震災後、なんだか調子が良くない...そんな時は

ずっと揺れている感じがする、ぐっすり眠れない、食欲がない、吐き気がする、身体がだるい、食べ過ぎる、やる気が出ない、イライラして攻撃的になってしまう、急に怖くなる、急に涙が出たり悲しくなったりする、会社や学校に行くのが億劫、など、いつもと違うちょっとした不都合が出ていませんか？

大きな災害に遭遇した後、または直接自分が遭遇したわけではなくても周囲で大きな災害が起きた後、わたしたちは一時的に心や身体にいろいろな不調を感じる場合があります。でも・・・自分が被災したなら調子が悪くなるのもわかるのですが、「実際に自分や家族が被災したわけでもないのに」「別にみんなが言うほど怖い出来事とは思ってないのに」どうして調子が悪くなるのでしょうか？

実はこのような不調、ご自身が実際に体験したかどうか、強いショックを感じたかどうかとは関係なく起きることがあります。テレビで衝撃的な映像を見過ぎたり、いつもと違う物々しい街の雰囲気を感じたり、とても辛い思いをした人の体験談をたくさん聞いたりすると、実際に被災された方と同じような不調が出ることもあるのです。

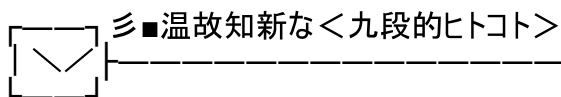
ここで、今簡単にできる心のケアの方法をいくつかご紹介します。

- ・不調が起きていることから目をそらさず、今起きている不調は当たり前の反応だと受け止める。
- ・災害関連のテレビを見過ぎない。
- ・怖い気持ちを我慢しない。

こころのケアを少しでも意識して毎日を過ごすことが、私たちの心を身体を守ることにつながりますので、宜しければ実践してみてください。

また、不調の状態によっては専門的な介入をしたほうがいい場合もあります。
ご心配なことがありましたら、弊所の提携先であります
株式会社メンタルサポート研究所様をご紹介します。
お気軽にご相談下さい。

(記事協力:株式会社メンタルサポート研究所様)



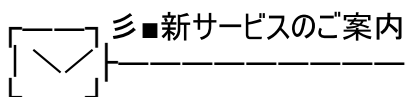
仁に過ぎれば弱くなる。
義に過ぎれば固くなる。
礼に過ぎれば諂い(へつらい)となる。
智に過ぎれば嘘をつく。
信に過ぎれば損をする。

-伊達正宗(戦国武将、陸奥仙台藩初代藩主)

仁は、愛や思いやりの心。
義は、正しい行いや判断力。
礼は、礼節や謙虚さ。
智は、知恵、学ぶ力、考える力。
信は、自分や他人を信じること。
孔子らの教えをまとめた「五常」です。
正しい行動規範とされますが、伊達政宗は
それが度を過ぎると窮屈で弊害になることを言っています。

伊達正宗の拠点であった仙台や東北地方。
住民や関係者の皆様で助け合い、お互い尊重し合って、
さきの震災から早急に復興され、
強い日本の象徴とされますように。

メールマガジン編集担当 新井 良平



この度、顧問先様の採用のご活動をお手伝いするため、
適性検査の代行サービスを開始致しました！
限られた面接のみでは、性格や能力を見抜くことは難しいかと思ます。
面接前に適性検査をしてもらい、九段会計までFAX等でいただければ、
数分で結果をお返しし、
その方の検査結果を見ながら面接をすることができます。
一人1,500円と、他の適性検査よりもリーズナブルな価格で

提供できるようになりましたので、
ご興味のある方は是非ご連絡下さい！！
導入して頂く顧問先様、続々増加中です！
今ならお試して社員の方3名まで無料提供中です。



3月11日に起きた、東北地方太平洋沖地震は、
色々と考えさせられました。
被災された方々には心よりお見舞いを申し上げるとともに、
犠牲になられた方々、そのご遺族の方々に対し
深くお悔やみ申し上げます。
一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当日は事務所におりましたが、6階の事務所は結構揺れ、
生まれて初めて机の下に隠れました。
その後、早く外に避難すべきか、
建物内で様子を見るべきか、
正直判断に迷いました。
万が一外に出たときにガラスが割れたり、
落下物により怪我をさせてしまってはならないし、
反対に建物内にいて逃げ遅れ、
かえって危険な目にあわせてはならないし・・・

また、帰宅の判断も迷いました。
早く御家族の元へ帰ってほしいという半面、
もし途中で危険な目にあわせてしまったら、という気持ち。
もしもの時があったらと思うと、怖いので自分の目の前にいて
無事を確認し続けたいという気持ちが少しだけありましたが、
もし自分が母親だったら、リスクを背負ってでも
一歩でも家族の元に近づきたいと思うと思い、
早めに帰宅していただきました。
当然電車は動いていないので一番遠い人は5時間以上かけて歩いて帰ったようですが、
御家族共に無事でほっとしました。

決断をするということは、他の選択肢を捨てること。
でも、いつまでも決断をできないでいると、
何が正しいか、誤っているかの判断すらわからず、
誤った場合修正ができなくなる、と体感しました。
経営者の皆様は毎日がこの状況なんだろうと思うと、
経営者の皆様には本当に頭が下がります。
自分が全責任を負う「覚悟」があるかどうかかなんでしょうね。
まずは自分ができることからしっかりやっっていこうと思います。

メールマガジン編集責任者 矢合 真弓

